

平成27年度第30回

豊の国木造建築賞作品集



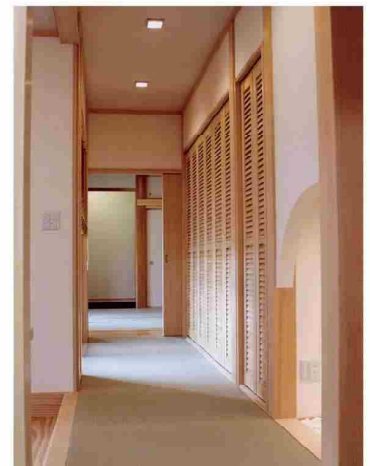
目次

| | |
|---------------|-----|
| 入賞作品一覧…………… | ① |
| 優秀賞…………… | ②～④ |
| 特別賞…………… | ⑤～⑦ |
| 協賛賞…………… | ⑧～⑩ |
| 奨励賞…………… | ⑪ |
| 応募作品…………… | ⑫～⑮ |
| 30年を振り返り…………… | ⑯ |
| あとがき…………… | ⑰ |

■入賞作品一覧

| 部門 | 賞 | 建築主 | 所在地 | 用途 | 設計者 | 施工者 | |
|-----------------------|-------------|------------------------------|--------|--|---|--|--|
| 新 建 築 部 門 | 優 秀 賞 | E.N 邸 | 大分市 | 住 宅 | 株式会社井上建設一級建築士事務所 代表 井上 隆次 大分市大字鷺野1022-2 TEL 097-569-2198 | 株式会社井上建設 代表取締役社長 井上 隆次 大分市大字鷺野1022-2 TEL 097-569-2198 | |
| | | 溝口 雄一 | 中津市 | 住 宅 | 山道勉建築 山道 勉 大分市羽屋9-3 B301 TEL 097-546-1565 | 井堀工務店 井堀 仁智 中津市三光上秣206-1 TEL 0979-43-6262 | |
| | 特別賞・協賛賞 | 大分県建設合同労働組合 | | 別府市 | 住 宅 | 浅野住環境デザイン一級建築士事務所 浅野 健治 速見郡日出町川崎523 TEL 0977-72-2336 | 株式会社浅野建設 代表取締役社長 浅野 健治 速見郡日出町川崎523 TEL 0977-72-5960 |
| | | 川野 克浩 川野 ルミ | | | | | |
| | | 一般社団法人大分県建築士事務所協会 | | 玖珠町 | 住 宅 | 有限会社尾方設計 代表取締役 尾方 秀則 玖珠郡玖珠町帆足299-11 TEL 0973-72-2662 | 有限会社梶原建築 代表取締役 梶原 惟利 玖珠郡玖珠町森4534 TEL 0973-72-5724 |
| | | 矢野 邸 | | | | | |
| | | 大分県木材協同組合連合会 | | 日田市 | 公園管理棟 交流施設棟 | 株式会社ヒグチ設計 代表取締役 樋口 健一郎 日田市中央1丁目1-24 TEL 0973-23-8097 | 株式会社諫山工務所 代表取締役 伊藤 哲司 日田市田島1丁目10-21 TEL 0973-22-6141 |
| | | 日田市長 原田啓介 | | | | | |
| | 協 賛 賞 | 大分県地域づくり機構 (大分県住宅供給公社) | | 日出町 | 住 宅 | 株式会社幸建設 幸 康史 別府市石垣東1丁目9-31 TEL 0977-23-6231 | 株式会社幸建設 幸 勝美 別府市石垣東1丁目9-31 TEL 0977-23-6231 |
| | | I 邸 | | | | | |
| | | 大分県建設組合連合会 | | 大分市 | 住 宅 | 日本ハウジング建築設計事務所 佐藤 隆幸 大分市大字片島75-1 TEL 097-567-0009 | 日本ハウジング株式会社 馬場 鉄心 大分市大字片島75-1 TEL 097-567-0009 |
| | | A 邸 | | | | | |
| | | 公益社団法人大分県建築士会 | | 別府市 | 住 宅 | 伊藤憲吾建築設計事務所 伊藤 憲吾 大分市藤の台20番地の6 TEL 090-1972-8392 | 株式会社平野工務店 代表取締役社長 平野 英壽 別府市石垣東8丁目2番17号 TEL 0977-21-0766 |
| | | ベルガー ミンチャ ベルガー 舞子 | | | | | |
| | | 一般社団法人大分県建設業協会 | | | | | |
| | 授 励 賞 | (株) Care-Labo 代表取締役 渡邊 祐貴 | | 大分市 | 有料老人ホーム | 株式会社住研 吉田 昇 大分市大字下郡3037番地の3 TEL 097-567-1884 | 株式会社住研 代表取締役 昇永 叔宏 大分市大字下郡3037番地の3 TEL 097-567-1884 |
| | | 大分県森林組合連合会 | | 別府市 | レストラン・カフェ | 株式会社木楽舎あんどう住宅設計室 大分市椎迫1-1-101 TEL 097-544-4554 | 株式会社木楽舎あんどう住宅設計室 大分市椎迫1-1-101 TEL 097-544-4554 |
| 青木 澄江 | | | | | | | |
| 大分朝日放送(株) | | 大分市 | 事務所兼店舗 | 平倉建設株式会社一級建築士事務所 古荘 智美 大分市中島中央3丁目1番11号 TEL 097-534-4480 | 平倉建設株式会社 代表取締役 平倉 啓貴 大分市中島中央3丁目1番11号 TEL 097-534-4480 | | |

| 部門 | 賞 | 建築主 | 所在地 | 用途 | 設計者 | 施工者 |
|---------------------------------|-------------|-------------|-----|-----|---|---|
| リ フ ォ ー ム 部 門 | 優 秀 賞 | 日本ハウジング株式会社 | 大分市 | 住 宅 | 日本ハウジング建築設計事務所 佐藤 隆幸 大分市大字片島75 1 TEL 097-567-0009 | 日本ハウジング株式会社 馬場 鉄心 大分市大字片島75 1 TEL 097-567-0009 |
| | 協 賛 賞 | 大分県職業能力開発協会 | | 住 宅 | hearth house labo 瀬口 正美 大分市宮崎台3丁目3-29 TEL 097-511-4932 | 簗原工務店 簗原 元 由布市挾間町赤野784-8 TEL 097-529-9902 |
| 瀬口 正美 | 大分市 | | | | | |



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 E.N 邸
設計者 (株)井上建設
一級建築士事務所
施工者 (株)井上建設
延面積 143.72㎡

設計主旨

「伝統的な和の住まいの美しさに、現代の暮らしに寄り添う快適性を両立。」
現代住宅が建ち並ぶ新興住宅街の中、ゆっくりと時間の流れる伝統的な数寄屋造りを原点に、落ち着いた印象的な竹まいを提案。
いぶし銀の粘土瓦が映える大屋根の外観に、軒の深いお縁を配置。夏の日差しや雨風を防ぐ日本風土に適した造りとなっています。
内部の玄関ホールにはこの家を象徴する大黒柱と飾り床があり松特有の柔らかな見た目と心地よい香りは訪れる人達を優しく包みます。また、離れへと続く畳敷きの廊下の脇には坪庭を配し水鉢に落ちる紅葉で四季の移り変わりをのぞむこともできます。



所在地 中津市
 用途 住宅
 建築主 溝口 雄一
 設計者 山道勉建築
 施工者 井堀工務店
 延面積 143.31㎡

設計主旨

■「家は、家族の「ふるさと」との想いと共にこれから“家族”となっていく若いご夫婦がふるさととなる家をつくるため、祖父母の土地と家を引き継いで建て替えた平屋住宅。築60年程の旧居を切り離し解体、納屋部分を残して再生し、中庭を介して母屋(新居)を配置しました。

■コンパクトであるからこそ家族1人1人が自然体でいられる細工を各所に、アプローチから始まり納屋から母屋へ、玄関から内部へ奥に進むにしたがって徐々に心が落ち着けるようスケール感を生かしたプラン。奥に位置する東の個室ではまるで巣箱の中へ入っていくような安心感も。雁行する軒とめれ縁は、内と外との境界をやわらかく繋ぐとともに、そうした心の移り変わりも表しています。一日のなかで、また長い年月のうち、広く使うことも仕切れることも自然とできるよう、人に寄り添える空間を目指しました。県産材の杉や桧を中心とした無垢材、木製建具や造作家具、内壁などに木の素材や特性を活かした意匠、外壁は九州の火山灰シラスの左官材。どの材も調湿や経年変化を楽しめ、環境への負荷やエネルギー消費への配慮ができるものです。

■新たな空間に、旧居の古材の存在をさりげなく感じさせた住まい。

■受け継いだ庭も、家のプランニングに呼応するよう再構築。性格の違う6つの庭は家の中からの風景を豊かにし、近隣や通りを歩く人との交流を自然にしてくれます。その庭にそっと佇む新旧の建物は、過去と未来の歴史をつなぐ確かな礎となっていると感じます。“ご先祖様も一緒にいる家”そんな住まいで心と身体を育てていく。過去と未来を見つめ「ひとつの家族として家があるといい」と願って生まれた家が“家族のふるさと”となることをいま確信しています。



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 日本ハウジング(株)
設計者 日本ハウジング
建築設計事務所
施工者 日本ハウジング(株)
延面積 135.33㎡

設計主旨

昭和の初期の建物である。戸次周辺には数多くの古民家が現存し、その古くからの町並みの中に「下戸次の家」は溶け込むように存在する。

一見、必ずしも状態がいいとは言えない民家であった。材料難の時代に懸命になって手に入る材を探しまわったのであろう。だからこそ、当時の匠たちが知恵を凝らし意匠を凝らした建物の、意匠だけは継承しようと思った。

構造の改修には地元大分の杉材を使い、将来は土へ帰る珪藻土を主な内装材とした。基礎断熱、外張り断熱を施し熱交換型のセントラル換気システムを採用した。古の意匠に最新の省エネ断熱基準を導入した「下戸次の家」である。



作品データ

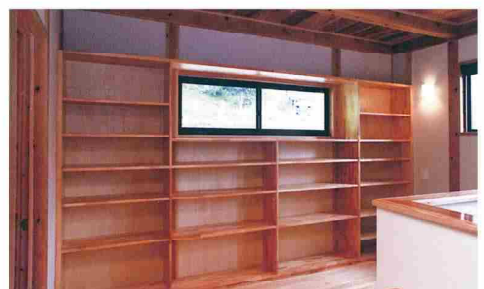
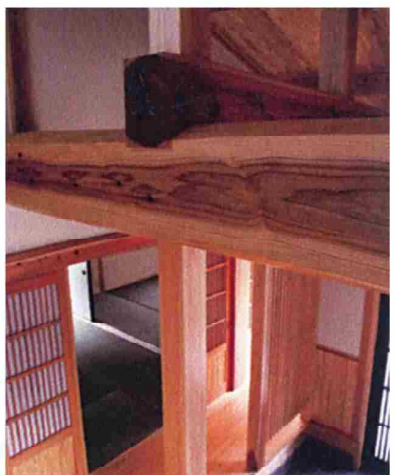
所在地 別府市
用途 住宅
建築主 川野 克浩・川野 ルミ
設計者 浅野住環境デザイン
一級建築士事務所
施工者 (株) 浅野建設
延面積 157.93㎡

設計主旨

屋根形状がそのまま室内空間に反映された、居間を中心とした豊かな空間が訪れる人を暖かく包みこむ。地域材の杉・別府石を多用し、自然の持つ素材を活かした意匠が印象的である。

外部に突出した軒とテラスは東側の海に向かって、飛び立つようである。日本の家は多様な気候風土から軒によって守られている。軒先の美しさが建物の生命を決めていく。

To Build a Garden House: Original Botanica



作品データ

所在地 玖珠町
用途 住宅
建築主 矢野 邸
設計者 (有)尾方設計
施工者 (有)梶原建築
延面積 214.38㎡

設計主旨

「引き継がれる家」

山間地の小さな集落にあるこの家は、環境と共生し田舎のコミュニティーも守る、家族のための家です。また、本家として親戚が集まる家でもあります。

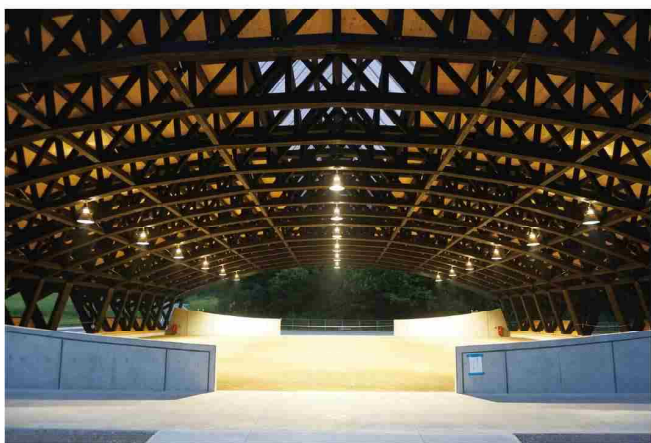
建物は木造在来工法で平鴨居を入れ、内外装とも全てに木材、漆喰などの自然素材を使用しました。大工、左官、建具屋さん等の職人さんがその技を存分に発揮する事ができました。元気のいいご両親は山の手入れの副産物の薪でお孫さんと共に湯を沸かし長男夫婦の帰りを待ちます。そんな家族の絆を結ぶ、引き継がれる家です。



交流施設外観



管理棟外観



交流施設内観



管理棟内観



管理棟内観

作品データ
所在地 日田市
用途 公園管理棟・交流施設棟
建築主 日田市長 原田 啓介
設計者 (株)ヒグチ設計
施工者 (株)諫山工務所
延面積 管理棟227.43㎡
交流施設666.90㎡

設計主旨

大山、田来原山頂の広大な公園の中に完成した全天候型交流施設である。施設には地場産の木材を使用しKES構法で接合金物を用いる事により施工の省力化、精度の向上を図り、地場の業者でも容易に施工可能なものとしている。

管理棟では外部には勿論、内部空間に化粧梁を初め見え掛りには日田杉を多用している。又、設備等にはユニバーサルデザイン仕様に留意したものであり、屋根面にはトップライトで自然光を採り入れ、LED照明を採用する事で省エネにも配慮したものになっている。

新築部門

協賛賞 大分県地域づくり機構(大分県住宅供給公社) 賞



作品データ

所在地 日出町
 用途 住宅
 建築主 1 邸
 設計者 (株)幸建設
 施工者 (株)幸建設
 延面積 116.59㎡



設計主旨

真壁構法、梁を見せる天井、「田の字」型プラン等、古来の日本家屋の構成を用いつつ、耐力壁は全て外周部に配置することで、無駄な廊下のない、開放的で木の温もり溢れる、フレキシブルな空間構成とした。また、外壁仕上げは耐候性と低コストを重視したガルバリウム角波鋼板を採用、自然素材を活かした内観とは対照的な外観を演出した。

太陽熱を利用した全館床暖房と太陽光発電の両方を備えたシステムの採用により、自然エネルギーを活用した、これからの時代のための木造住宅を実現した。

新築部門

協賛賞 大分県建設組合連合会賞



作品データ

所在地 大分市
 用途 住宅
 建築主 A 邸
 設計者 日本ハウジング建築設計事務所
 施工者 日本ハウジング(株)
 延面積 249.50㎡



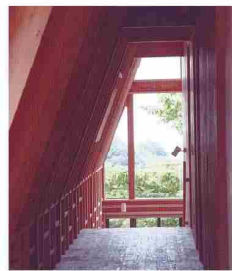
設計主旨

分棟型の二世帯住宅である。世代の違う家族間の距離を敢えて置くことにより、そこに現れる中庭が二つの家族をつなぐ共生の場となった。また東に絶好の眺望が望めることから両方の棟ともウッドデッキを介して風景と繋がる空間を創出した。家族は「自然」と繋がる生活を共有しているのである。開口部の配置により住宅地にありながら隣家の存在を気にすることなく生活できる。

構造は大分産の杉、内装は床に杉と桧、壁は珪藻土といった自然素材で健康に配慮した。片流れの屋根はシャープな外観のデザインを表現すると同時に、自然エネルギーの太陽光発電を効率よく活用するためのものである。

新築部門

協賛賞 公益社団法人大分県建築士会賞



作品データ

所在地 別府市
用途 住宅
建築主 ベルガー ミシャ・ベルガー 舞子
設計者 伊藤憲吾建築設計事務所
施工者 (株)平野工務店
延面積 107.87㎡



設計主旨

オランダと日本の国際的な夫婦より別府湾を眺望できる斜面敷地に日本の空間を求める依頼を受けました。設計過程の中から「平屋である事」「片流れの屋根がある事」「陰影のある空間」など、表面的ではない日本建築の空間構成を取り入れることにしました。
環境面に対しては、自然エネルギーだけで過ごすため断熱性能を高め薪ストーブを使用するなど、なるべく生活にエネルギーを使わない事を踏まえて設計しています。室内仕上げの珪藻土や構造部の木材そして床の杉材。これらの素材は手触りも良く建物内の調湿効果を高めています。自然素材、自然エネルギーを上手に使い、高い技術を取り入れた現代の日本の住宅なのだとと言えます。

新築部門

協賛賞 一般社団法人大分県建設業協会賞



作品データ

所在地 大分市
用途 有料老人ホーム
建築主 (株)Care-Labo 代表取締役渡邊 祐貴
設計者 (株)住研
施工者 (株)住研
延面積 692.89㎡



設計主旨

人々の大きく開けた敷地に佇む平屋の住宅型有料老人ホームです。
『寿(ことぶき)に満ちた老人ホームをつくろう』をテーマに設計と施工を進めました。自宅できつろいでいる気分ですごせる施設を日指して、外部空間には季節を愉しめる庭を、内部空間は、『春夏秋冬』をテーマにインテリア計画を行いました。木製のルーバーを組み込んだトップライトからは昼間は太陽のやさしい光が、夜には組込み照明のやわらかな光がランタンの明かりのように建築のシルエットを浮かび上がらせる演出を試みました。竣工いたしました現在、ここで暮らされる皆さんが四季を感じながら快適に日々をおくることができる空間を実現できたのでは、と思っています。

新築部門

協賛賞 大分県森林組合連合会賞



作品データ

所在地 別府市
 用途 レストラン・カフェ
 建築主 青木 澄江
 設計者 (株)木楽舎あんどろ住宅設計室
 施工者 (株)木楽舎あんどろ住宅設計室
 延面積 134.86㎡

設計主旨

別府市の閑静な住宅街に、「友人宅を訪れるような」レストランをつくりたいとの思いが詰まったレストランを建築しました。

完全自然素材をセンスよくスッキリ見せるデザインと、職人さんの手造りが溢れる建具などが満載です。太陽熱を空気に乗せて家じゅうを温めるパッシブソーラー「そよ風」を搭載し、パッシブデザインとの併用による快適性・省エネ性の向上に生かしています。

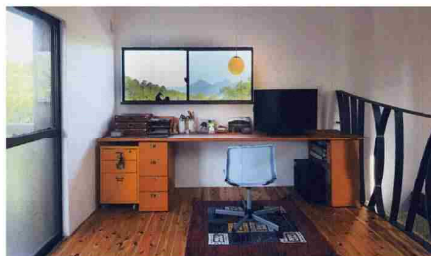
リフォーム部門

協賛賞 大分県職業能力開発協会賞



作品データ

所在地 大分市
 用途 住宅
 建築主 瀬口 正美
 設計者 hearth house labo.
 施工者 簗原工務店
 延面積 91.34㎡



改修前

設計主旨

約40年をかけなじんできた昭和の街並みはそのままに、室内空間のリフォームで再生した。

職人さん・アーティストの手仕事のぬくもりやインスピレーション取り入れるため、ひとりひとりと出会いながらプランをした。

日田杉、木製サッシ、木製キッチン、アートを取り入れること、タイル貼り、左官（しっくいぬり）、こて絵、どれも職人さん・アーティストとのやりとりを通して生まれた。まったく入っていなかった断熱材を屋根、カベ、床下すべてに入れ、仕切りのないほぼワンルームとした。ホームシアター、ウッドデッキをそなえ、木製キッチンテーブルを囲んで家族や友人たちとのだんらんをたのしむ場をつくった。



作品データ

所在地 大分市
 用途 事務所兼店舗
 建築主 大分朝日放送(株)
 設計者 平倉建設(株) 一級建築士事務所
 施工者 平倉建設(株)
 延面積 264.42㎡



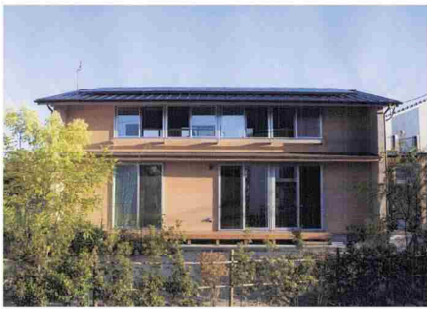
設計主旨

情報発信の拠点に新たに誕生した“ガーデンスタジオ5” 雑木林に固まれたこの建物は、社員の福利厚生のみならず、地域の憩いの場として提供されています。

外壁ルーバー・木製窓・塀、室内では内装・家具に至るまで木を使用し「木のぬくもり」にこだわりました。ウッドデッキに面した全開口サッシを開け、小高い芝生の丘、100年になるシンボルツリーのコナラ等に目を向けると、室内に居ながら木漏れ日やうつろいを感じ自然と一体になる、心にも身体にもやさしい空間となりました。また、有事の際には誰でも利用可能である電源供給としての太陽光パネルの設置、給水としての井水ピットと手押ポンプの設置等、避難施設としての役割も担っており「地域との共生」を目指しています。

新築部門

応募作品(住宅)



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 江口 大輔
設計者 江口 大輔
施工者 (株)ベツダイ
延面積 127.38㎡



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 甲斐 智則
設計者 吉田 晃
施工者 (株)住研
延面積 92.09㎡



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 K 邸
設計者 (株)井上建設一級建築士事務所
施工者 (株)井上建設
延面積 120.06㎡



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 田川 拓哉
設計者 アーキテック・一級建築士事務所
施工者 (株)アイビック
延面積 121.72㎡



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 (株)ベツダイ
設計者 比護 結子
施工者 (株)ベツダイ
延面積 85.27㎡



所在地 大分市
用途 住宅
建築主 山崎 一平
設計者 足立 心也
施工者 足立 直人
延面積 107.64㎡



所在地 別府市
用途 住宅
建築主 高木 彬豪
設計者 (株)幸建設
施工者 (株)幸建設
延面積 62.93㎡



所在地 別府市
用途 住宅
建築主 M 邸
設計者 日本ハウジング建築設計事務所
施工者 日本ハウジング(株)
延面積 104.34㎡



所在地 中津市
用途 住宅
建築主 中村 公蔵
設計者 (有)やまむら一級建築士事務所
施工者 (有)猪立山工務店
延面積 138.23㎡

応募作品(住宅)



所在地 中津市
用途 住宅
建築主 一
設計者 伊藤 憲吾
施工者 西日本土木(株)
延面積 144.08㎡



所在地 由布市
用途 住宅
建築主 坂本 正一
設計者 角田 裕樹
施工者 (株)角田建設
延面積 213.88㎡



所在地 豊後大野市
用途 住宅
建築主 荒巻 昌子
設計者 松村建築
施工者 松村建築
延面積 117.95㎡



所在地 豊後大野市
用途 住宅
建築主 渡部 高久
設計者 渡部建築設計事務所
施工者 (株)宮豊建設
延面積 97.42㎡



所在地 臼杵市
用途 住宅
建築主 三浦 正徳
設計者 現代建設(株)一級建築士事務所
施工者 現代建設(株)
延面積 101.27㎡



所在地 日出町
用途 住宅
建築主 S 邸
設計者 (株)林興産アイズホーム
施工者 (株)林興産アイズホーム
延面積 131.87㎡

新築部門

応募作品(非住宅)



所在地 大分市
用途 バス停留所
建築主 大分県林産振興室
設計者 伊藤 憲吾
施工者 新成建設(株)
延面積 4.76㎡



所在地 大分市
用途 観光案内所
建築主 大分市商工労政課
設計者 伊藤 憲吾
施工者 新成建設(株)
延面積 27㎡



所在地 大分市
用途 老人ホーム
建築主 社会医療法人財団 天天堂 理事長 松本 泰祐
設計者 東九州設計工務(株)
施工者 (株)佐伯建設
延面積 1,693.88㎡



所在地 杵築市
用途 保育園
建築主 社会福祉法人 浄願寺福祉会 理事長 三那三 文雄
設計者 (有)秋吉設計
施工者 (株)高原建設
延面積 134.00㎡



所在地 中津市
用途 地区集会所
建築主 中津市長 新貝 正勝
設計者 (株)松山設計
施工者 高野建設(株)
延面積 667.39㎡



所在地 竹田市
用途 住宅・カフェ&ギャラリー
建築主 秋月 典子
設計者 秋月 正徳・マサクリエイティブ、新山俊則・プロデュース
施工者 佐藤建築
延面積 153.78㎡



所在地 豊後大野市
用途 犬小屋
建築主 荒巻 チロル・チョコ
設計者 松村建築
施工者 松村建築
延面積 1㎡



所在地 豊後大野市
用途 保育園
建築主 社会福祉法人 大野福祉会 あさじルンビニこども園
設計者 アス力建築総合研究所
施工者 (株)松井組
延面積 509.24㎡

リフォーム部門

応募作品(住宅)



作品データ
所在地 豊後大野市
用途 住宅
建築主 後藤 栄治
設計者 (株)大建設一級建築士事務所
施工者 (株)大建設
延面積 147.85㎡

リフォーム部門

応募作品(非住宅)



作品データ
所在地 臼杵市
用途 雑貨店
建築主 山木 令子
設計者 現代建設(株)一級建築士事務所
施工者 現代建設(株)
延面積 66.01㎡

豊の国木造建築賞の30年を振り返って

豊の国木造建築賞は、大分県における木造住宅・建築の振興のために、1985年に創設され、この度の30回をむかえ終了することになりました。その間長きにわたり、選考委員(長)を務め、何とか責務を果たすことができましたのは、ひとえに関係者皆様のご支援によるものと心より感謝いたしております。

初心に立ちかえるとき、以来ずっと気にしてきたことを、まずとどめておきたいと思います。それは本賞の最も特色とし大切にしようとしていた点で(他にあまりみられない)表彰者を「建築主」「設計者」「施工者」の三者としたことです。つまり三者がどのようにかかわってできた木造住宅・建築なのかによって評価しようという、本賞の基本的な枠組みです。なかでも当初は、より建築主のかかわりを大切にしたい選考をしようという共通認識のもと、スタートしたことを想起します。そこには、これから新たに住宅をつくり建築主になろうとする人達に、直接木造住宅への関心を高めてもらい、建設に向けた動機づけにつなげていくことになればという意図からでした。

ところが、実際にスタートしてみると、そう簡単ではなく、建築主をクローズアップするには困難を伴いました。例えば、建築主は一回限りの経験でかかわり方のどこをアピールすればよいのか要領を得ない、応募パネルの製作は設計者が中心で建築主の情報少ない、評価の関心は作品中心になりやすい、などなど。その結果、残念ながら、次第に設計者及びその作品を中心とする評価選考になっていったといえます。

しかしながら、建築主が自ら学び工夫し建てた住宅がとりあげられ、それによりこれから住宅を建てようとする人達を触発動機づけし、住宅づくりに結びつけようとする指向は、好ましい木造住宅の普及を促そうとするときの原点の一つであり、今後とも大分県に限らず、各地で広く継承されていくことを切望しておきます。

以下、当初から最終までを概観し、記憶にとどめておくべきことを記すことにします。まず応募件数の推移ですが、初期は50件台、中期にかけて増加し70~80件に、平成に入り着工戸数の動向と関連し漸減し、最後は40件を割るに至った。応募作品の内容は、当初は手探りの応募で、バラエティに富んでいた。なかに多く見られた入母屋の御殿風のもの、大規模かつ高建設費のものなど、回数を重ねるに従い少なくなり、本賞の趣旨に沿った作品に淘汰されていった。その後、次第に応募作品の中心は都市郊外型住宅になっていった。非住宅系では、時代のニーズを反映し、児童の保育所・幼稚園、高齢者の福祉施設が比較的多かった。予期していなかったことで、予想以上に注目を集め高い評価を得るようになったものに、古材の活用、さらには古民家再生があり、多く登場するようになる。これらには新築では出せない年月を重ねた木造の魅力があり、新築をしのいで最優秀賞・優秀賞を連続してとるようになる。その結果、新築とリフォームに分けて審査するようになった。また、次第に広がりを見せている配慮に、良質の木造建築にふさわしい、環境への負荷やエネルギー消費の低減を促す材料施工や設備方式の慎重な選択が増えたことも記しておきたい。

さらに本賞の活性化とレベルアップへの寄与貢献として、当初の頃は県内各地のベテランの設計者が積極的に応募され、リードしてくださるような状況があった。また、中期から近年にかけては中堅の設計者の参加が増え、競い合い、その中にはリーダー的な役割を果たす人達が輩出してきた。

以上、まとめてみるに、豊の国木造建築賞は長きにわたるなか、建築主・設計者・施工者三者の発表の場として、かつ研鑽の場として役割を果たした。その間に応募作品のレベルは、初期から徐々に、次第に加速し、向上が図られた。その結果、大分県の木造住宅・建築をリードするにふさわしい最優秀賞・優秀賞・その他の賞の受賞作品が選考され、その推進役を果たす人達を育成する場にもなっていったと考えています。

今回で本事業は収束することになり、大分県の木造建築の振興に役割を果たしてきた場がなくなります。しかしながら残された課題は多く、この貴重な経験を活かし、次のステップに向けた新たな場を検討し、さらなる展開が図られていくことを切望して止みません。

最後になりますが、この事業に参加応募してくださった皆さんをはじめ、選考委員各位、本事業の推進協議会の各協会・団体および県建築住宅課の方々に、改めて感謝の意を表します。

(2015年10月 片岡 正喜)

『豊の国木造建築賞』選考委員

| | |
|-------|-------------------------|
| 片岡 正喜 | 大分大学名誉教授 |
| 菅 雅幸 | 日本文理大学教授 |
| 松村久美子 | 大分県デザイン協会会員 |
| 宮崎 和恵 | 大分インフォメーションハウス株式会社取締役社長 |
| 毛井 悦治 | NPO法人 ライフ・ネット理事 |
| 嶋津 徳光 | 大分県林研グループ連合会 |

大分県木造住宅等推進協議会会員

| | |
|---------------------------|----------------|
| 一般社団法人 大分県建設業協会 | 大分県建設組合連合会 |
| 大分県建設合同労働組合 | 公益社団法人 大分県建築士会 |
| 一般社団法人 大分県建築士事務所協会 | 大分県職業能力開発協会 |
| 大分県森林組合連合会 | 大分県木材協同組合連合会 |
| 大分県地域づくり機構 (大分県住宅供給公社) | |
| 大分県農林水産部林産振興室 | 大分県土木建築部建築住宅課 |

あとかぎ

昭和61年に始まりました「豊の国木造建築賞」は、今年度で30回目となりました。

30年間の継続により、この建築賞が木造建築に関わる方々の業務の成果を発表する場として定着し、また、大分県の木造建築物のレベル向上に寄与しているものと自負しております。

今年度は新築部門においては、住宅22点、住宅以外12点、リフォーム部門においては、住宅3点、住宅以外1点の合計38点の応募がありました。

選考は書類審査を経て現地審査を実施し、新築部門において優秀賞2点、リフォーム部門において優秀賞1点、両部門を通じて協賛賞9点(内3点は特別賞も受賞)、奨励賞1点の計13作品を入賞作品として決定しました。本年度の入賞作品は、施主のこだわりが感じられる作品が多く見られました。また、既存の建物を活かした作品や街なみや景観に配慮した作品も数多く出展されており、今後の木造建築の可能性の大きさが感じられました。

「豊の国木造建築賞」は今回の第30回を最後とし、来年度には大幅にリニューアルし、新たな賞として再開することとしています。本賞を支えてくださった皆様に本紙面をお借りして感謝申し上げますとともに、新しい賞につきましてご期待いただき、引き続きご支援をお願いいたします。

平成27年10月

大分県木造住宅等推進協議会

発行

大分県木造住宅等推進協議会

(大分県土木建築部建築住宅課内)

〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号

TEL 097-506-4677

メールアドレス a18500@pref.oita.lg.jp